

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学実習		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
駒形 純也 他	D309	j.komagata		火曜日 10:00~13:00	
授業の目的・概要	昨今、我が国では糖尿病罹患者の増加に伴い高齢の下肢切断者が増加しており、リハビリテーションを担当する理学療法士にとって、義肢に関する知識は必須となる。そのため、義肢装具学実習では、まず義肢について講義し、義足患者のリハビリテーションや異常歩行のメカニズムについて考察する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中やオフィスアワー等に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	PT・OT ビジュアルテキスト義肢・装具学 第1版/監修 高田治実、編集 豊田輝、石垣栄司/羊土社				
参考書	指定参考書なし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	切断・義肢に関する知識を理解し、説明できる。			PT(2)、(3)	
②	義肢に関する知識・メカニズムを理解し、姿勢の崩れや異常歩行について説明できる。			PT(2)、(3)	
③	切断患者に対する理学療法について、説明できる。			PT(2)、(3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	総論①： 切断の概論、疫学を学ぶ。(担当：駒形)	講義			
2	総論②： 義肢の基礎知識を学ぶ。(担当：駒形)	講義			
3	下腿切断①： 下腿切断について学ぶ。(担当：駒形)	講義			
4	下腿切断②： 下腿義足のパーツについて学ぶ。(担当：駒形)	講義			
5	下腿切断③： 下腿義足のアライメントを学ぶ。(担当：駒形)	講義			
6	下腿切断④： 下腿義足の異常歩行について学ぶ。(担当：駒形)	講義・実習			
7	下腿切断⑤： 3~6 回目の内容にまとめを行う。(担当：駒形)	同時双方向型授業			
8	大腿切断①： 大腿切断について学ぶ。(担当：駒形)	講義			
9	大腿切断②： 大腿義足のパーツについて学ぶ。(担当：駒形)	講義			
10	大腿切断③： 大腿義足のアライメントを学ぶ。(担当：駒形)	講義			
11	大腿切断④： 大腿義足の異常歩行について学ぶ。(担当：駒形)	講義・実習			
12	大腿切断⑤： 8~11 回目の内容についてまとめを行う。(担当：駒形)	同時双方向型授業			

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間（時間）
13	切断他： サイム義足・膝離断、股義足、義手の特徴を学ぶ。(担当：駒形)	講義	
14	リハビリテーション①： 切断端の管理、評価、断後の A DL について学ぶ。(担当：関根)	講義・実習	
15	13～14 回目の内容についてまとめを行う。(担当：駒形)	同時双方向型授業	
16	アシストロボット①： アシストロボットとリハビリについて学ぶ。(担当：遠藤)	同時双方向型授業	
17	アシストロボット②： アシストロボットの患者への応用について考える。(担当：駒形)	同時双方向型授業	
18	下腿切断⑥： 3～6 回目の内容について復習を行う。(担当：駒形)	講義	
19	大腿切断⑥： 8～11 回目の内容について復習を行う。(担当：駒形)	講義	
20	切断の概要・疫学について復習を行う。(担当：駒形)	同時双方向型授業	
21	リハビリテーション②： 急性期病院での切断者リハビリについて学ぶ。(担当：甘利)	講義・実習	
22	リハビリテーション③： 急性期病院での切断者リハビリについて学ぶ。(担当：甘利)	同時双方向型授業	
23	義肢装具学実習の総復習を行う。(担当：駒形)	講義	
試			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	0	0	0	10
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	5	55
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末に試験を実施して評価する。試験では、教科書及び配布資料の内容を基に应用問題を出題し、理解度を問う。	試験返却時に解説を行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

		評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標				
成果発表	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
その他	①	✓	21-22 回目の授業では、授業内で課題を提示する。 提出された課題を採点し、成績に反映する。		模範解答などの解説を全体に提示する。確認に来た学生には、解説を行う。
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				
	⑥				
備 考					
他 担 当 教 員	甘利 貴志、遠藤 悠介、関根 聡美				
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。				
実践的授業の内容	理学療法士として病院等で勤務経験を有する教員が、切断患者に対する理学療法に関する基本的知識と技能を教授する。				
そ の 他	受講する際の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 ・ 注意しても守れない学生は退室してもらう。 ・ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢や講義の進行状況によって、シラバスの内容を一部変更することがある。 ・ Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 				